

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## お元気ですか

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 小学3年生に『昔のくらし』

～話をするために調べてみました～

平成24年2月28日(火)

第278号

発行 NPO法人ひまわり

岡山県鏡野町羽出 690

理事長 小椋勝好 (編集 美若)

#### 「道と乗りもの」の話

昔話をすればいいのだろうと引き受けたら、昔のくらしの勉強でした。これは困った。大急ぎで、奥津町史・上斎原村史などを見て調べました。

◇ 自動車が走れる道は、いつできたの？

明治30年頃 津山・二宮・竹田・久田・女原・羽出(うど坂)・奥津道を拡幅整備。

(115年前) 荷馬車を引く道で、自動車が走ったかどうかは不明。

大正3年 大釣道が開通。自動車が通れる道ができた。

(98年前) \*羽出發電所の発電機や変圧器は、馬車にのせて牛8頭で引いた。

◇ 道がアスファルトで舗装されるのは、昭和35年頃(50年前頃)から

羽出の道が舗装されたのは、昭和40年頃以後か(?)

◇ バスはいつごろから走り始めたの？

昭和2年 岡山市内(駅～後樂園)で初めてバスが運行した。(停車場は3年後)

錦泉楼がお客の送迎で乗用車を運行したが、うまくいかなかった。

昭和7年 津山・奥津間を美伯自動車株式会社(奥津)が走らせた。9年に休止。

安定して走り出したのは昭和10年(中鉄が買収)頃から。

昭和23年 バスの増発改定(津山行11便、奥津方面12便)があった。

◇ 車は少なかった。(大正7年、苫田郡に、乗用1・荷積1と初出)

大正13年 苫田郡(津山町を含む)で、乗用自動車17、荷積用1

昭和3年 苫田郡(津山町を含む)で、乗用自動車39、荷積用5

昭和13年 苫田郡(津山市を除く)で、乗用自動車21、荷積用17

\* 羽出の木炭を、産業組合を作って安定した価格で出荷することにして、トラックに積んで出荷した。澤田さんのお父さんが担当していた…、と聞くが、戦争も拡大して軍用車が多くなり、戦前は住民用にはまわりにくかったようだ。

◇ 車が増えるのは、昭和40年頃からでした。特に45年以後急増しているようです。

「ふれあいの里」 次回は、3月6日(火)に開きます。

\* 羽出地区高齢者との親睦交流会があります。(開会は10時からです)

\* 利用者は、いつも通りにふれあいの里に来ます。